

12月議会報告

第
3
号

令和5年
1月発行
東小川6-23-12
鈴木ひでなお
後援会発行

～ 今回は 2つの 質問をしました ～

Q1 遊休農地の活用について

増え続ける遊休農地。放置すると、不法投棄をされたり、資材置き場になったり、あるいは太陽光発電ができたりということになり、田園風景が一変してしまう。一方では、家庭菜園をやりたい方も多い。町が遊休農地バンクを作って、貸したい人と借りたい人をマッチングして、遊休農地を活用することはできないか。

A 町ではふれあい農園を2カ所用意している。また、きちんと利用することを条件に耕作することができる制度(100㎡以上1000㎡未満の利用面積)を作った。これらを利用してほしい。

ふれあい農園の現状は、30㎡の小区画のものには空きがなく、空いているのは100㎡の大区画のもの。素人には大規模なものは難しいので、小規模なものを増やしたい。

Q2 嵐山・小川インターチェンジ 付近の活用について

練馬インターから30分、都会から週末に土にふれたい人たちのニーズに応えるには最適の場所。どこにでもある商業施設や大型倉庫でなく、小川町らしく「体験農園」や「観光農園」にできないか。

A 体験農園や観光農園は、都市住民との交流による付加価値を生み出し、農業者の所得向上にも繋がる。土地利用構想や農業振興地域計画等に沿った利活用について考えていく。

同じ関越道の昭和インターチェンジそばの道の駅に「あぐりーむ昭和」がある。様々な野菜の収穫体験ができたり、貸し農園で年間通して耕作ができたりする。

ただ、練馬から1時間以上かかる。小川町の方がはるかに近いので、具体化したいもの。

◎再質問をしながら、町にその気になってもらおうと試みましたが、噛み合わない面がありました。今回の問題は引き続き考えていきたいと思います。

12月議会で通ったこと

約1億7千万の補正予算が議決！

◎子育て世帯への特別給付

(対象児童一人当たり2万円)

◎妊婦への生活支援

(一人2万円の給付)

◎トラック運送事業への燃料代高騰への支援(1台当たり3万円、軽貨物車は1万円)等

3月議会に向けて

◎小中学校を魅力的にするために

学校の再編計画の方向が示されました。ゆくゆくは、小学校2校、中学校1校に再編されます。

そうすると、子育て世代で移住を考える人にとって大きなマイナス要因となりかねません。

そこで、教育内容の質を高めたり、給食をよりおいしく安全なものにしたりして、学校は多少遠くても移住の選択肢となるような取組とPRが必要だと考えます。

このような観点から、質問を準備して3月議会に臨みたいと思っています。

なお、主な議案は、令和5年度の予算審議となります。(私は、教育関係や福祉関係を注視します。)



昨年12月の和紙マラソンの一コマ
(猫ひろしさんと)

☆今年は選挙の年、再選めざしてがんばります！

☆ホームページができました！
hide-nao.com で検索。

☆YouTubeチャンネルもあります。
小川町の様々な出来事や人やものの出会いを通して私が感じたことを発信しています。
「鈴木ひでなお」で検索。

☆町政への疑問・要望がありましたら、下記までお電話かメールをお願いいたします。

TEL 070-5374-5891

Email marusu745340@gmail.com

☆後援会への入会も受付中です。